



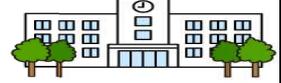
学校教育目標

校訓

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～

～かけがえのない自己の人生に目を開き、たくましく自己実現していく生徒の育成～

自主・剛健・高雅



東金市立東金中学校 学校だより第44号

令和5年1月6日発行 文責：副校長 久我 和廣

今年もよろしくお願いいたします。



令和5年（2023年）が幕を開けました。本日、行われた3学期始業式等では、生徒の元気な顔を見ることができ安心しました。さて、今年「卯年（うとし）」です。卯年は、十二支に振り分けられたときに4番目にくる干支です。干支以外にも十干（じっかん）と呼ばれるものを加えることもあります。2023年の「卯年」に十干（じっかん）を加えると「癸卯（みずのとう）」となります。

- 癸 → 十干の「癸」は十干の10番目最後にあたるものであり、生命や物事の終わりを意味するとともに、「揆（はかる）」につながる文字で、植物の内部にできた種子が測れるほど大きくなり、春の間近にして萌え出ずる用意をしている様を意味しています。
- 卯 → 卯は十二支の4番目で、干支ではうさぎのことですが、十二支の語源としては「茂（ぼう、しげるの意）または「冒（ぼう、おおうの意）」で、草木が茂り地面を蔽うようになった状態を表しており、春の訪れを感じる意味となっています。また「卯」の字自体は左右に開かれた門であり、冬の門が開き飛び出る様子もあるようです。卯は草木が土を割って芽吹き、やがて地面を覆い繁茂の勢いを示しています。卯=うさぎ自体が勢いよく飛び跳ねる生き物であり、多産で成長も早い繁栄の象徴でもあります。

これからの成長や飛躍のために力をため準備し育んできたことが十分に実り、芽吹き始める年。早い人は大きく飛躍し、一気に広まり始める、努力がいっぺんに実り始める年。これまで努力してきたことや、実直にしてきたことが報われる、花開き一気に飛躍する年。また、努力やためてきたことが足りない人でも、年のはじめから努力を重ねれば年内には花開き、結果につながることも考えられる年でもあります。

さて、2023年、今年も生徒一人一人が目標をかなえられるよう、我々教職員一同、力を合わせて精一杯支援していきます。保護者の皆様からも、昨年に引き続き御支援と御協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

1 学年代表

「2学期を振り返って」

1年3組 小倉 義也

僕がこの2学期で印象に残った出来事は2つあります。

1つ目は、部活動です。僕は野球部に所属しており、秋季大会では、県大会ベスト8という結果を残すことができました。そして、この大会は、僕が今までに出場した大会の中で、一番楽しく、チームメイトとの絆もよりいっそう深まった大会だったと感じました。また、大会を通して、チームはもっともっと強くなれると、僕は感じました。

2つ目は、合唱コンクールです。

僕のクラスは、優秀賞を取ることができ、その時の喜びは今でも忘れていません。ですが、道のりは簡単ではなく、最初は歌詞を間違えたり、音程が分からなかったりと、大変でした。僕も最初は、やっている意味が分からず、練習もつまらないと思っていました。でも、練習を重ねていくうちに合唱が楽しくなっていき、クラスメイトもお互いに感化されていき、最終的にはクラスみんなが本気で練習に打ち込み、このような結果を手に入れることができたと思います。

3学期では、残り少ない期間でクラスメイトとより友情を深め、充実した時間を過ごしたいと思います。部活動では、きつい練習にも本気で打ち込み、チーム一丸となって今年よりも良い結果を残したいと思います。



もうすぐ2学期が終わろうとしています。私はとても充実した2学期を送ることができました。残っていることは合唱コンクールです。2年3組は熱気を持って取り組んでいますが、朝の会や昼の時間は合唱コンクール練習の練習に励んでいます。最初は不安で、「絶対に優秀賞を取りたい!」という思いが全員に伝わり、本番は聴いている人の心を動かす発表ができたのではないかと思います。優秀賞が発表され、3組のみんな喜び合った瞬間は最高の時間でした。賞を取れたことはもちろん嬉しかったですが、何より仲間と同じ目標に向かって協力し、うまくいかないときは励まし合い、練習に励んだ時間はとても充実した時間でした。練習では、私が伴奏のミスをしてしまい、曲が止まってしまったことがありました。戸惑う私に、クラスのみんなは、「大丈夫だよ!」「ファイト!」と声をかけ、励ましてくれました。その言葉に、不安は吹き飛び、もっと頑張らないと、という気持ちが湧いてきました。合唱はもちろん、クラスみんなで協力する素晴らしさを改めて感じました。最近、職場体験や進路学習など、将来のことを少しずつ考えなければいけない時期になりました。中学校生活も半分が終わり、友達との時間もさらに大切にしなければいけないと感じています。3学期には、3年生を送る会など、クラスの協力が必要な場面が多くあります。これからも3組の学級目標である「一生懸命に・全力で・ポジティブに」をみんなで意識し、何事にも頑張っていきたいです。



自分の事が好きですか?と聞かれて、皆さんは何と答えますか。私は、胸を張って「はい」とは言えないタイプでした。そこでも私は自分を好きになることを2学期の目標に掲げました。自分を好きになるということは、自尊心を高めるということです。今の日本人には足りない部分であり、「自分を好きなのは恥ずかしい」という風潮を改善すべきです。皆さんも実際に、そう感じることがあるのではないのでしょうか。自分に自信がなく、何をやるにも曖昧になってしまっている人も、自分に自信があってやりたいことをやりきる人の方が、何倍もカッコよくて、キラキラして見えませんか。私は、そんな、キラキラした人になりたいです。その目標を達成するため、まずは自分を「私が好きな私」と「私がキライな私」に分けました。私の好きな私は、努力している私で、私のキライな私は、怠けている私です。自分を好きになるには、私が好きな私である必要があります。そのため、私は努力しようと決心しました。受験生というのもあり、勉強に精一杯努めました。「受験生なんだから勉強を頑張るって当然」という考え方もあると思いますが、私にとってそれは大きな一歩で、後に私を変えるものでした。夏から本格的に受験勉強をはじめ、模擬試験を受けてみると、点数は思うようには上がりませんでした。けれど、それまでの私は確実に努力をしてきていました。その後も努力を怠らず、勉強をつづけました。すると、ようやく成果が見られました。目標としていた点数に近づき、とてもうれしかったです。その結果が私のこれまでの努力を示していて、「私がんばったんだ」という自信にもつながりました。そして、私は前よりも自分を好きになれたと思います。この喜びをかみしめて、今もこれから努力をつづけていきたいです。



学校だより第42号の訂正について

12月20日発行の学校だより第42号掲載した表彰の受賞記録に誤りがありましたので、訂正させていただきます。

山武郡市小中学校科学作品展 科学論文の部

(誤) 銅賞 → (正) 銀賞 魚地 風葉 (1年3組)

大変申し訳ありませんでした。